

バクの家・くつろぎ利用者の声 (原文をそのまま載せています)

バクさんのくつろぎは2011年に鳥飼地区にて約10年間障害福祉サービスを提供してきましたがその役目を終え

昨年の10月にバクの家へ移転し共に同じ時間を過ごしてきた中で、バクの家とくつろぎにおいて互いにどんな変化があったのかを今回は特集します

バクさんのくつろぎが移転してから3ヶ月が経ちました。



当初は不安気だった皆さんも、日を重ねるごとに事業所にも雰囲気にも馴染まれている様子で、くつろぎとバクの家の利用者の皆さんが楽しそうに話をされる光景も日常的になっています。

くつろぎの皆さんにとって、1日の利用者数が数名のくつろぎから、毎日30名近くが通うバクの家への移転は、本当に不安が大きかったと思います。

迎えるバクの家の方にとっても、風と夢の統合の時とは異なり、障害特性や年齢的にも異なるくつろぎさんが来られることは大きな変化だったと思います。

現在、バクさんのくつろぎは1階、バクの家は2階と内職作業や活動も別に行っていますが、「ババ抜き大会」や「茶話会」などの余暇的な活動については合同で行っています。

一緒に参加できる活動を通して、互いを知り、少しずつ慣れていければと思っています。

まだまだ途上ですが、いずれはバクさんのくつろぎ、バクの家、垣根なく香露園のこの地で、法人理念である『ともに考え、ともに悩み、一緒に成長』していければと思っています。

『トランプやりたい』

『来てくれてありがとう。』

『トランプやおはなしをしています。』

『きてくれてほんとうにはげみになってよかったです。』

『おしゃべりたのしい。』

『これからもよろしくおねがいします。』

『いろいろなおはなしができることと、友だちになれることが、とてもうれしいです。』

『くつろぎで9年過ごし、とても家族的な雰囲気で日常生活をしていましたので、なかなか気持ちもその他いろいろなことで2ヶ月経った今も馴染めていないのが素直な気持ちです。』

『来て楽しいですよ。』

『メンバーさんや職員さんと話ができたら、友達が 増えた。相談ができた。』



～ 喫茶アウルからのお知らせ～ 喫茶アウルでは、木曜日限定で 牛丼の販売を始めました。



牛丼

限定10食
価格 400円
(サラダ付)